

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2013 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに卵巣がん、卵管がん、腹膜がんと診断された患者さん			
②研究課題名	卵巣がん患者における PARP 阻害薬使用の費用対効果分析			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2027 年 12 月			
④実施機関	静岡がんセンター、（参加施設）静岡社会健康医学大学院大学			
⑤研究代表者	氏名	高橋伸卓	所属	静岡県立静岡がんセンター 婦人科
⑥当院の研究代表者	氏名	高橋伸卓	所属	静岡県立静岡がんセンター 婦人科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧他機関への提供	無			
⑨提供先の責任者	氏名		所属	
⑩目的	PARP 阻害薬（オラパリブやニラパリブ）は 2018 年に適用されて以降、卵巣がん、卵管がん、腹膜がんに対する初回治療における維持療法（治療効果を長く保つために治療を継続する方法）に使用される薬剤として広く使用されるようになった。しかし、その費用は高額であるものの、費用対効果（PARP 阻害薬を使用した患者さんと使用しなかった患者さんと比較して、その費用の増加に伴った治療効果を認めるかどうか）については十分な検討がなされていない。PARP 阻害薬の実臨床における費用対効果を評価することを目的とする。			
⑪方法	電子カルテを用いて卵巣がん、卵管がん、腹膜がんの患者さんの全生存期間（Overall Survival）、QOL（EQ5D5L）、総医療費（血液検査、CT、薬剤費用など）を調査し、費用対効果分析の指標である Quality-adjusted life years（QALY）、Incremental Cost-Effectiveness Ratio（ICER）を算出し、卵巣がん、卵管がん、腹膜がんの患者さんにおける PARP 阻害薬の費用対効果分析を行う。			
⑫倫理審査	倫理審査委員会承認日		2026 年 8 月 20 日	
⑬公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑭プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑮知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。			
⑯利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑰資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑱問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長